

長野陸協 会報

NAA
Nagano Athletics Association
一般財団法人長野陸上競技協会

2023.03.31
vol. **177**

天皇盃 第28回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会

長野県チーム 9回目の優勝!!



**女子 第34回全国高校駅伝
初優勝 長野東高校**

**男子 第73回全国高校駅伝
準優勝 佐久長聖高校**



スポーツくら



長野陸協会報はスポーツ振興くじの
助成を受けて発行しています

全国都道府県対抗駅伝競走大会結果 男子:優勝、女子:11 位

天皇盃 第 28 回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会
2023 年 1 月 22 日 12 時 30 分スタート、広島市

【結果】優勝(9回目) 記録 2時間17分10秒 大会新
【戦評】監督 高見澤 勝 (佐久長聖高校教員)

今回も 1 区の永原颯磨選手から好位置で始まり、
2 区の猿田創汰選手と 3 区の伊藤大志選手が粘りの
走りをしてくれたおかげで、予想より早く 4 区で山
口峻平選手がトップに立てました。5 区の吉岡大翔
選手が後続との差を引き離し、6 区の小林睦選手が
更に差を広げて勝負が決まりました。7 区の上野裕
一郎選手は、余裕をもって確実にタスキを運び、大会
記録を更新してフィニッシュテープを切りました。

今大会に向けて、選手・スタッフの派遣等でご協力
をいただきました各所属長様や監督・顧問の方々、長
野陸協の方々並びに、ご支援・ご協力をいただいた数
多くの皆様方に心より感謝申し上げます。

来年も「チーム長野」が一丸となって連覇を目指
していききたいと思いますので、今後をご指導ご支援
を賜りますようお願い申し上げます。

【結果詳細】

区間(距離km)	第 1 区 (7.0)		第 2 区 (3.0)		第 3 区 (8.5)		第 4 区 (5.0)	第 5 区 (8.5)	第 6 区 (3.0)	第 7 区 (13.0)
選手名	永原 颯磨		猿田 創汰		伊藤 大志		山口 峻平	吉岡 大翔	小林 睦	上野 裕一郎
チーム順位・記録	2	19分41秒	3	28分30秒	4	52分18秒	1 1:06分20秒	1 1:30分12秒	1 1:38分59秒	1 2:17分10秒
区間順位・記録	2	新19分41秒	23	8分49秒	8	23分48秒	1 新14分02秒	1 新23分52秒	3 8分47秒	12 38分11秒
区間最高記録	新	19分39秒	8分17秒		23分30秒		新 14分02秒	新 23分52秒	8分36秒	
Top通過チーム	兵庫		兵庫		京都		長野	長野	長野	長野・大会新
同記録	19分39秒		27分56秒		51分58秒		1:06分20秒	1:30分12秒	1:38分59秒	2:17分10秒

【総合成績】

1位 長野2:17:10、2位 埼玉2:17:35、3位 東京2:18:20
4位 千葉2:18:21、5位 岡山2:18:28、6位 京都2:18:32
7位 広島2:18:38、8位 兵庫2:18:45

【表彰】

優勝チーム監督賞：高見澤 勝

コーチ賞：牛山 通高、帯刀 秀幸

優秀選手賞：山口 峻平

ジュニア A 優秀選手賞：吉岡 大翔

ジュニア B 優秀選手賞：新妻 遼己(兵庫・平岡中)

【選手団】

役職他	氏 名	所属他
団 長	内山 了治	理事長・長野高専
副団長	北島 正孝	副会長・芝上建設(株)
監 督	高見澤 勝	佐久長聖高校
コーチ	牛山 通高	中野土建(株)
	帯刀 秀幸	上田西高校
	丸山 健志	駅伝副部長・丸山農園
	宮入 修一	竹内製作所



優秀選手賞 山口 峻平 ジュニア A 優秀選手賞 吉岡 大翔
(写真提供：中国新聞社)

役職他	氏 名	所属他
コーチ	今村 善隆	緑ヶ丘中学校
	伊藤 秀充	松島中学校
支援コーチ	中津 敦喜	強化部長・須坂創成高校
	掛川 和彦	強化部・丸子修学館高校
	三代澤芳男	強化部・豊科高校
トレーナー	秋山 友彦	あきやま整骨院
主将7区	上野 裕一郎	セントポールクラブ
補欠	松崎 咲人	東海大学 4年
3区	伊藤 大志	早稲田大学 2年
5区	吉岡 大翔	佐久長聖高校 3年
1区	永原 颯磨	佐久長聖高校 2年
4区	山口 峻平	佐久長聖高校 2年
補欠	松尾 悠登	佐久長聖高校 3年
6区	小林 睦	富士見中学校 3年
2区	猿田 創汰	堀金中学校 3年
補欠	田中 秀磨	長野日大中学校 3年
補欠	滝澤 秀斗	赤穂中学校 2年

皇后盃 第41回全国都道府県
対抗女子駅伝競走大会

2023年1月15日
12時30分スタート
京都市

結果 11位

記録 2時間19分32秒



【結果詳細】

区間(距離km)	第1区(6.0)	第2区(4.0)	第3区(3.0)	第4区(4.0)	第5区(4.1075)	第6区(4.0875)	第7区(4.0)	第8区(3.0)	第9区(10.0)
選手名	村岡 美玖	名和 夏乃子	真柴 愛里	窪田 舞	仁科 玲美	佐藤 悠花	赤羽 真衣佳	田村 るう	和田 有菜
チーム順位・記録	15 19分57秒	14 32分49秒	14 42分28秒	12 55分53秒	9 1:09分18秒	11 1:23分00秒	10 1:36分03秒	11 1:46分24秒	11 2:19分32秒
区間順位・記録	15 19分57秒	9 12分52秒	15 9分39秒	10 13分25秒	8 13分25秒	27 13分42秒	12 13分03秒	15 10分21秒	19 33分08秒
区間最高記録	19分06秒	12分31秒	新 9分02秒	12分56秒	13分07秒	12分47秒	12分34秒	9分43秒	31分22秒
Top通過チーム	新潟	大阪	大阪	神奈川	大阪	大阪	大阪	福岡	大阪
同記録	19分06秒	32分09秒	41分46秒	55分06秒	1:08分24秒	1:21分28秒	1:34分13秒	1:44分21秒	2:15分48秒

【総合成績】 1位 大阪2:15:48、2位 京都2:16:37
3位 福岡2:16:47、4位 神奈川2:16:49、5位 東京2:17:13
6位 千葉2:17:39、7位 鹿児島2:18:39、8位 愛知2:18:47

【御礼】 団長 副会長・駅伝部長 北島 正孝

春色の候、皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より長野陸上競技協会事業に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

多くの皆様方からお寄せいただいた応援と期待に応えるべき、1月15日全国都道府県対抗女子駅伝に目標「メダル獲得」で挑みました。結果は11位(10位と同タイム)でした。

萩谷選手欠場は急な出来事で、選手・コーチ陣は京都入りの道中で知らせを受ける状況でありました。強いショックの中、目標を入賞に変え、主将和田さんは、体調が万全ではない状況下でアンカー10kmは高校生に走らせる事は出来ないと踏ん張り、高校生も実業団・大学生と競り合い、控えに回った選手と萩谷さんも付き添いとして汗を流し、来年度が楽しみの内容で大会を終えました。監督・コーチ陣も逆境を乗り越える実体験になったと思います。メダル獲得に挑戦するという言葉が出るような状態まで登りつめてこられましたのも、先人の方々のお力と、それぞれのお立場で競技者を育て送り出して下さる指導者のおかげだと思ひます。

目標達成出来ずも、明るい気持ちで次に向うことが出来ます事は応援して下さい皆様のおかげであります。今後も旧に倍して、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げますお礼のご挨拶とさせていただきます。応援ありがとうございました。

【選手団】

役職他	役職	所属他
団長	北島 正孝	長野陸協駅伝部長
副団長	丸山 健志	長野陸協駅伝副部長
監督	横打 史雄	長野東高校
コーチ	木下 純市	伊那東部中学校
	富永 浩一	菅野中学校
	小島 康弘	茅野東部中学校
	鳥羽 一彦	安曇野かけっこクラブ
	横地 京子	松代高校
	渡辺 優樹	鉢盛中学校
	加藤 未有	サンアップル
	速渡 賀大	松本深志高校
トレーナー	窪田 勝	くぼた整骨院
	野竹 康之	野竹接骨院
主将9区	和田 有菜	JP日本郵政G
補欠	萩谷 楓	エディオン
補欠	五味 叶花	名城大学 2年
補欠	中村 柚音	中京学院大学 1年
1区	村岡 美玖	長野東高校 3年
6区	佐藤 悠花	長野東高校 3年
7区	赤羽 真衣佳	長野東高校 3年
5区	仁科 玲美	長野東高校 3年
2区	名和 夏乃子	長野東高校 2年
4区	窪田 舞	長野東高校 1年
3区	真柴 愛里	春富中学校 3年
8区	田村 るう	下諏訪中学校 3年
補欠	川上 南海	赤穂中学校 2年
補欠	羽生 風	駒ヶ根東中学校 2年

NAA Athletics Awards 2022 開催 2 月 18 日(土) 於：長野市 ホテル犀北館

本協会アスレチックスアワードを 3 年ぶりに、全国男子駅伝優勝祝賀会を兼ね、在広島信州県人会篠原道正会長、近畿長野県人会甘利誉司三会長、京都長野県人会高坂昌利副会長はじめ 5 名の県人会の皆様、関昇一郎長野県副知事、内堀繁利県教育長、北島隆英県教育委員会スポーツ課長はじめ行政の皆様方、丸山栄一県議会議長はじめ議員の皆様方、小坂壮太郎信濃毎日新聞社代表取締役社長はじめご協賛企業の皆様方、NP0 法人信州駅伝サポート会の皆様、総勢 54 名のご来賓のご臨席を賜り 122 名の参加を得て開催することができました。また、過分なるご芳志、激励のお言葉等もいただき、心から御礼申し上げます。

今年度の本協会競技面は、世界選手権に 3 名が出場、U20 世界選手権 5000m で吉岡君が 7 位入賞の他、栃木国体、全国小学生交流大会、全日本中学、全国高校総体、全国高校定通、全国高専並びに日本学生など、すべてのカテゴリーでこれまでのコロナ禍を晴らすかのような活躍がありました。更に、昨年末の長野東高校の女子全国高校駅伝初優勝、男子は佐久長聖高校が日本高校最高新記録で 2 位入賞を果たし、この勢いを、1 月の全国女子駅伝 11 位、そして男子

優勝に結び付けることができました。これらも偏に多くの皆様方のご支援ご指導の賜であり、心から感謝申し上げます。そして、全国男子駅伝の高見澤監督が掲げる「チーム・関係者全員で。一丸となって！」という体制を、県内の指導者が共有し各種目の指導場面で本気・全力で指導にあたっている成果でもあると思います。これまでの先達の皆様方に改めて感謝申し上げ、応援していただいている県内外の数多くの皆様方に心から厚く御礼申し上げます。

この勢いを、2028 信州やまなみ国スポ・全障スポでの天皇杯・皇后杯獲得に向け、世界で活躍できる競技者育成・競技力向上並びに競技会運営力の向上に励む所存ですので、今後とも相変わらぬご支援、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

なお、長野県知事阿部守一様はじめお祝いの言葉をいただきました。詳細は下記本協会 Web サイトに掲載しておりますので、ご高覧下さい。また、表彰された競技者は下記一覧のとおりです。

https://nagano-rk.com/download/2023NAA_AW-Panf_0215_S.pdf

代表理事・理事長、男子駅伝団長 内山了治

令和4年 勲功章(26名)・優秀選手章(58名 26+32)・該当選手一覧

(対象期間 2022.1.1～2022.12.31)

【勲功章】下記の優秀選手章受章者の中で、中学卒業後、一人1回限りとして贈与している。

勲:勲功章、重:重複

【優秀選手章】この協会の登録競技者であって、当該年中に次に掲げた要件のいずれかに該当した者に授与する。

※リレー・駅伝種目丸数字:走順

- (1) 日本記録樹立者 (2) 長野県記録樹立者 (3) 県高校生記録樹立者
(4) 日本代表: 国際大会出場 (5) 県代表: 全国大会入賞者 (6) 日本選手権入賞者
(7) 標準記録突破者: 全国大会入賞 (8) 予選会通過: 全国大会入賞 (9) 日本陸連主催大会入賞者

w:追風参考

#:日本高校最高記録

章	要件	種目	受章者	所属	学年	記録	大会名	期日↓	会場	備考
	(1)	女 4x100mR②	君嶋 愛梨沙	土木管理総合		43秒33	世界選手権	07/22	オレゴン(USA)	(4)
	(2)	男 60m	デーデー ブルーノ	東海大	4+	6秒77	日本選手権室内	03/13	大阪城H	
重	(2)	女 60m	君嶋 愛梨沙	土木管理総合		7秒45	日本選手権室内	03/13	大阪城H	(6) 4位
重	(2)	女 200m	君嶋 愛梨沙	土木管理総合		23秒66	静岡国際	05/03	小笠山	
勲	(2)	男 4x100mR①	木村 伊吹	佐久長聖高	3	40秒59	長野県高校総体	05/27	松本	(3)
	(2)	男 4x100mR②	落合 華七斗	佐久長聖高	3	40秒59	長野県高校総体	05/27	松本	(3)
勲	(2)	男 4x100mR③	安坂 丈瑠	佐久長聖高	3	40秒59	長野県高校総体	05/27	松本	(3)
勲	(2)	男 4x100mR④	福澤 耀明	佐久長聖高	3	40秒59	長野県高校総体	05/27	松本	(3)
重	(2)	女 100m	君嶋 愛梨沙	土木管理総合		11秒36	日本選手権	06/10	長居	(6) 優勝
	(2)	男 棒高跳	内山 朋也	筑波大院	2	5m41	長野県選手権	06/25	松本	
	(2)	男 3000mSC (0.914m)	村尾 雄己	順天堂大	1	8分41秒64	ホクレンDC	07/16	千歳	
	(2)	女 300mH (0.762m)	大鹿 愛和	佐久長聖高	3	42秒69	長野サマーTR	07/23	長野	(3)
勲	(2)	女 円盤投 (1.000kg)	坂井 美藍	順天堂大	3	46m50	順大競技会	08/11	順大	
	(2)	男 4x400mR(混)①	宮崎 日向	日本大	1	3分27秒71	栃木国体	10/09	栃木	
重	(2)	男 4x400mR(混)②	大鹿 愛和	佐久長聖高	3	3分27秒71	栃木国体	10/09	栃木	
	(2)	男 4x400mR(混)③	南澤 明音	松本土建		3分27秒71	栃木国体	10/09	栃木	
勲	(2)	男 4x400mR(混)④	名取 勇人	東海大諏訪高	3	3分27秒71	栃木国体	10/09	栃木	
	(3)	男 3000m	吉岡 大翔	佐久長聖高	3	8分01秒29	平国大長距離	04/30	鴻巣	
勲	(3)	男 砲丸投 (6.000kg)	木藤 海琉	長野高専	3	15m01	長野県高校総体	05/28	松本	
	(3)	女 棒高跳	岡田 莉歩	佐久長聖高	2	3m90	長野県高校総体	05/28	松本	
勲	(3)	男 八種競技	梶川 新	松本国際高	3	5749点	北信越高校総体	6/17 18	西部緑地	
	(3)	女 やり投(600g)	倉田 紗優加	伊那北高	3	52m71	北信越高校総体	06/18	西部緑地	
勲	(3)	男 男子110mH(0.991m-9.14m)	小口 蒼葉	東海大諏訪高	1	14秒09	長野サマーTR	07/24	長野	
勲	(3)	男 男子110mH(0.991m-9.14m)	中村 駿汰	松本国際高	1	14秒22	全国U16	10/23	愛媛	(5) 2位
勲	(3)	男 砲丸投 (6.000kg)	高橋 勇翔	松本国際高	3	15m21	国武大競技会	10/30	国武大	
	(4)	女 10000m	小林 成美	名城大	4	-	世界選手権	07/16	オレゴン(USA)	
重	(4)	男 5000m	吉岡 大翔	佐久長聖高	3	14分10秒68	U20世界選手権	08/01	カリ(COL)	7位
重	(5)	男 5000m	吉岡 大翔	佐久長聖高	3	13分53秒85	栃木国体	10/06	栃木	優勝
重	(5)	女 棒高跳	岡田 莉歩	佐久長聖高	2	3m80	栃木国体	10/06	栃木	5位
重	(5)	男 100m	福澤 耀明	佐久長聖高	3	10秒76	栃木国体	10/07	栃木	3位
重	(5)	女 300mH (0.762m)	大鹿 愛和	佐久長聖高	3	44秒59	栃木国体	10/07	栃木	7位
勲	(5)	男 4x100mR①	永井 颯太	松本大	2	40秒26	栃木国体	10/08	栃木	6位
	(5)	男 4x100mR②	樋口 一馬	MINT TOKYO(東京)		40秒26	栃木国体	10/08	栃木	6位
重	(5)	男 4x100mR④	福澤 耀明	佐久長聖高	3	40秒26	栃木国体	10/08	栃木	6位
勲	(5)	男 走幅跳	山浦 溪斗	国際武道大	4	7m73	栃木国体	10/08	栃木	3位
重	(5)	男 男子110mH(0.991m-9.14m)	小口 蒼葉	東海大諏訪高	1	14秒64	栃木国体	10/09	栃木	8位
重	(5)	女 やり投(600g)	倉田 紗優加	伊那北高	3	49m36	栃木国体	10/09	栃木	3位
勲	(5)	男 3000m	濱口 大和	佐久長聖高	1	8分07秒66	栃木国体	10/10	栃木	2位
	(5)	女 800m	内山 成実	アイ・エス・シー(東京)		2分07秒68	栃木国体	10/10	栃木	4位
重	(5)	女 5000m	小林 成美	名城大	4	15分58秒21	栃木国体	10/10	栃木	8位

重	(6)	女	クロカン8km	小林 成美	名城大	3+	26分34秒	日本選手権XC	02/26	福岡	優勝
重	(6)	男	クロカン8km	吉岡 大翔	佐久長聖高	2+	23分36秒	U20日本選手権XC	02/26	福岡	優勝
	(6)	女	クロカン6km	村岡 美玖	長野東高	2+	20分15秒	U20日本選手権XC	02/26	福岡	6位
	(6)	女	35km競歩	落合 早峰	中京大	4	3時間16分05秒	日本選手権35km競歩	04/17	輪島	7位
	(6)	女	七種競技	土屋 ほか	山梨学院大	1	4481点	U20日本選手権混成	06/05	秋田	6位
重	(6)	男	5000m	吉岡 大翔	佐久長聖高	3	13分54秒98	U20日本選手権	06/09	長居	優勝
重	(6)	男	400m	宮崎 日向	日本大	1	47秒03	U20日本選手権	06/10	長居	3位
重	(6)	男	100m	福澤 耀明	佐久長聖高	3	10秒55	U20日本選手権	06/10	長居	4位
重	(6)	女	やり投(600g)	倉田 紗優加	伊那北高	3	54m91	U20日本選手権	06/11	長居	2位
重	(6)	女	200m	君嶋 愛梨沙	土木管理総合		w 23秒53	日本選手権	06/12	長居	2位
重	(6)	男	走幅跳	山浦 溪斗	国際武道大	4	7m90	日本選手権	06/12	長居	7位
	(6)	男	4x400mR①	児玉 悠作	法政大	4	3分06秒51	日本選手権リレー	10/02	国立	2位
重	(7)	女	10000m	小林 成美	名城大	4	33分21秒48	日本学生個人	04/15	平塚	優勝
	(7)	男	10000m競歩	鈴木 英司	東海大	4	40分56秒74	日本学生個人	04/15	平塚	4位
	(7)	男	10000m競歩	清水 海地	明治大	3	41分18秒67	日本学生個人	04/15	平塚	5位
重	(7)	男	走幅跳	山浦 溪斗	国際武道大	4	7m52	日本学生個人	04/15	平塚	7位
勲	(7)	男	400mH (0.914m)	岡村 州紘	日本大	4	51秒45	日本学生個人	04/17	平塚	5位
重	(7)	男	棒高跳	内山 朋也	筑波大院	2	5m20	日本学生個人	04/17	平塚	3位
重	(7)	女	10000m	小林 成美	名城大	4	33分32秒91	日本学生対校	09/09	西京極	5位
重	(7)	男	棒高跳	内山 朋也	筑波大院	2	5m30	日本学生対校	09/09	西京極	4位
	(7)	男	走幅跳	松本 陸	信州大	4	7m64	日本学生対校	09/09	西京極	2位
	(7)	女	10000mW	中村 綾花	日本体育大	1	47分56秒37	日本学生対校	09/10	西京極	6位
	(7)	男	800m	二見 優輝	筑波大	2	1分49秒18	日本学生対校	09/11	西京極	6位
勲	(7)	男	5000m	花岡 寿哉	東海大	1	13分59秒73	日本学生対校	09/11	西京極	6位
重	(7)	男	400mH (0.914m)	岡村 州紘	日本大	4	50秒09	日本学生対校	09/11	西京極	3位
重	(7)	男	4x400mR①	児玉 悠作	法政大	4	3分06秒31	日本学生対校	09/11	西京極	4位
重	(7)	女	100m	君嶋 愛梨沙	土木管理総合		11秒54	全日本実業団	09/24	長良川	2位
重	(7)	女	200m	君嶋 愛梨沙	土木管理総合		24秒30	全日本実業団	09/25	長良川	3位
	(7)	男	4x400mR①	岩田 晃	ライフメッセージAC		3分16秒80	全日本実業団	09/25	長良川	7位
	(7)	男	4x400mR②	中村 颯人	ライフメッセージAC		3分16秒80	全日本実業団	09/25	長良川	7位
	(7)	男	4x400mR③	清水 泰志	ライフメッセージAC		3分16秒80	全日本実業団	09/25	長良川	7位
	(7)	男	4x400mR④	小林 航	ライフメッセージAC		3分16秒80	全日本実業団	09/25	長良川	7位
重	(7)	女	棒高跳	岡田 莉歩	佐久長聖高	2	3m80	全国U18	10/21	愛媛	4位
勲	(7)	男	3000m	大場 崇義	上伊那農高	2	8分16秒86	全国U18	10/22	愛媛	優勝
	(7)	女	走幅跳	宮原 凜成	市立長野高	3	5m61	全国U18	10/23	愛媛	8位
	(8)	男	1500m	岡田 遥人	松本国際高	4	4分07秒23	全国定通制高校	08/01	駒沢	優勝
勲	(8)	女	円盤投(1.000kg)	住 凜華	松本筑摩高	4	33m01	全国定通制高校	08/02	駒沢	優勝
重	(8)	男	800m	岡田 遥人	松本国際高	4	1分54秒79	全国定通制高校	08/03	駒沢	優勝
勲	(8)	男	5000m	山崎 優葵	つくば開成高	3	16分50秒55	全国定通制高校	08/03	駒沢	優勝
勲	(8)	男	1500m	松尾 悠登	佐久長聖高	3	3分45秒69	全国高校総体	08/04	鳴門	2位
	(8)	女	1500m	名和 夏乃子	長野東高	2	4分23秒70	全国高校総体	08/04	鳴門	8位
勲	(8)	男	5000m競歩	鈴木 淳也	長野商高	3	21分51秒55	全国高校総体	08/05	鳴門	8位
重	(8)	男	4x100mR①	木村 伊吹	佐久長聖高	3	40秒70	全国高校総体	08/05	鳴門	5位
重	(8)	男	4x100mR②	落合 華七斗	佐久長聖高	3	40秒70	全国高校総体	08/05	鳴門	5位
重	(8)	男	4x100mR③	安坂 大瑠	佐久長聖高	3	40秒70	全国高校総体	08/05	鳴門	5位
重	(8)	男	4x100mR④	福澤 耀明	佐久長聖高	3	40秒70	全国高校総体	08/05	鳴門	5位
重	(8)	女	棒高跳	岡田 莉歩	佐久長聖高	2	3m90	全国高校総体	08/06	鳴門	3位
重	(8)	女	やり投(600g)	倉田 紗優加	伊那北高	3	53m82	全国高校総体	08/06	鳴門	優勝
	(8)	男	3000mSC (0.914m)	永原 颯磨	佐久長聖高	2	9分04秒75	全国高校総体	08/07	鳴門	2位
	(8)	女	4x400mR①	大鹿 愛和	佐久長聖高	3	3分56秒46	全国高校総体	08/07	鳴門	8位
勲	(8)	女	4x400mR②	渡邊 陽乃	佐久長聖高	3	3分56秒46	全国高校総体	08/07	鳴門	8位
勲	(8)	女	4x400mR③	鈴木 天音	佐久長聖高	3	3分56秒46	全国高校総体	08/07	鳴門	8位
勲	(8)	女	4x400mR④	市川 笑花	佐久長聖高	3	3分56秒46	全国高校総体	08/07	鳴門	8位
勲	(8)	女	100m	小柳 梨乃	長野高専	2	12秒85	全国高専	08/20	愛媛	優勝
	(8)	女	円盤投(1.000kg)	永原 璃桜	長野高専	4	34m04	全国高専	08/20	愛媛	優勝
重	(8)	男	砲丸投(6.000kg)	木藤 海琉	長野高専	3	14m18	全国高専	08/21	愛媛	優勝
重	(8)	女	砲丸投(4.000kg)	永原 璃桜	長野高専	4	11m75	全国高専	08/21	愛媛	優勝
重	(8)	男	駅伝(42.195km)①	永原 颯磨	佐久長聖高	2	2時間01分57秒#	全国高校駅伝	12/25	西京極	2位(3)
重	(8)	男	駅伝(42.195km)②	濱口 大和	佐久長聖高	1	2時間01分57秒#	全国高校駅伝	12/25	西京極	2位(3)
重	(8)	男	駅伝(42.195km)③	吉岡 大翔	佐久長聖高	2	2時間01分57秒#	全国高校駅伝	12/25	西京極	2位(3)
	(8)	男	駅伝(42.195km)④	山口 竣平	佐久長聖高	2	2時間01分57秒#	全国高校駅伝	12/25	西京極	2位(3)
	(8)	男	駅伝(42.195km)⑤	長屋 匡起	佐久長聖高	3	2時間01分57秒#	全国高校駅伝	12/25	西京極	2位(3)
勲	(8)	男	駅伝(42.195km)⑥	篠 和真	佐久長聖高	1	2時間01分57秒#	全国高校駅伝	12/25	西京極	2位(3)
重	(8)	男	駅伝(42.195km)⑦	松尾 悠登	佐久長聖高	3	2時間01分57秒#	全国高校駅伝	12/25	西京極	2位(3)
重	(8)	女	駅伝(21.0975km)①	名和 夏乃子	長野東高	2	1時間07分37秒	全国高校駅伝	12/25	西京極	優勝(3)
勲	(8)	女	駅伝(21.0975km)②	窪田 舞	長野東高	1	1時間07分37秒	全国高校駅伝	12/25	西京極	優勝(3)
	(8)	女	駅伝(21.0975km)③	仁科 玲美	長野東高	3	1時間07分37秒	全国高校駅伝	12/25	西京極	優勝(3)
	(8)	女	駅伝(21.0975km)④	佐藤 悠花	長野東高	3	1時間07分37秒	全国高校駅伝	12/25	西京極	優勝(3)
重	(8)	女	駅伝(21.0975km)⑤	村岡 美玖	長野東高	3	1時間07分37秒	全国高校駅伝	12/25	西京極	優勝(3)

【奨励章】中学校の生徒及び小学校の児童で、次に掲げた要件のいずれかに該当した者に授与する。

重:重複

(1)県中学校記録樹立者 (2)中学校全国大会入賞者 (3)小学生全国交流大会入賞者 (4)県小学生記録樹立者

※リレー・駅伝種目丸数字=走順

章	要件	種目	受賞者	所属	学年	記録	大会名	期日↓	会場	備考
重	(1)	女 200m	寺平 祈愛	木祖中	3	24秒86	県中学夏季記録会	06/18	松本	
	(1)	女 100m	寺平 祈愛	木祖中	3	11秒80	北信越中学	08/03	長野	
	(1)	女 100mH (0.762m-8.0m)	並木 彩華	野沢中	3	13秒96	全日本中学	08/20	あづま	
	(1)	男 100m	丸山 章平	相森中	3	10秒84	全日本中学	08/21	あづま	(2) 3位
	(1)	男 4x800mR①	猿田 創汰	堀金中	3	8分33秒11	上伊那デスタンスTR	09/03	伊那	
	(1)	男 4x800mR②	木下 陽真人	堀金中	3	8分33秒11	上伊那デスタンスTR	09/03	伊那	
	(1)	男 4x800mR③	福田 晃大	堀金中	3	8分33秒11	上伊那デスタンスTR	09/03	伊那	
	(1)	男 4x800mR④	百瀬 柁宏	堀金中	3	8分33秒11	上伊那デスタンスTR	09/03	伊那	
	(1)	男 4x100mR(混)①	垣内 友仁	清陵附属中	3	42秒67	リレーフェスティバル	10/01	国立	
	(1)	男 4x100mR(混)②	依田 惺那	立科中	3	42秒67	リレーフェスティバル	10/01	国立	
	(1)	男 4x100mR(混)③	美齊津 岳	小諸東中	3	42秒67	リレーフェスティバル	10/01	国立	
	(1)	男 4x100mR(混)④	江間 諒太郎	篠ノ井東中	3	42秒67	リレーフェスティバル	10/01	国立	
	(1)	女 三段跳	大森 玲花	軽井沢A&AC	3	11m50	全国U16	10/23	愛媛	(2) 4位

重	(2)	女 走高跳	小林 日和	広徳中	3	1m60	全日本中学	08/18	あづま	5位
重	(2)	女 四種競技	大森 玲花	芦原中	3	2747点	全日本中学	08/20	あづま	7位
重	(2)	女 100m	寺平 祈愛	木祖中	3	11秒80	全日本中学	08/21	あづま	優勝
重	(2)	女 100mH (0.762m-8.0m)	並木 彩華	野沢中	3	13秒96	全日本中学	08/21	あづま	6位
重	(2)	女 100m	寺平 祈愛	木祖中	3	11秒95	栃木国体	10/08	栃木	2位
重	(2)	男 4x100mR③	丸山 竜平	相森中	3	40秒26	栃木国体	10/08	栃木	6位
	(3)	男 5年100m	村上 悠	波田小	5	13秒42	全国小学生	08/20	日産ST	6位
	(3)	男 コンバインドB	佐藤 秀瑚	佐久ドリム	5	2244点	全国小学生	08/20	日産ST	8位
	(3)	女 コンバインドA	中嶋 優佳	軽井沢A&AC	6	2118点	全国小学生	08/20	日産ST	8位
	(3)	女 コンバインドB	小野澤 比奈矢	軽井沢A&AC	6	1977点	全国小学生	08/20	日産ST	3位
	(4)	男 コンバインドA	長峰 和真	佐久ドリム	6	2299点	県小学生	06/19	松本	
重	(4)	男 コンバインドB	佐藤 秀瑚	佐久ドリム	5	2317点	県小学生	06/19	松本	
重	(4)	女 コンバインドA	中嶋 優佳	軽井沢A&AC	6	2251点	県小学生	06/19	松本	
重	(4)	女 ジャベリックボール投	小野澤 比奈矢	軽井沢A&AC	6	50m15	上田カーニバル	09/04	菅平	
重	(4)	女 80mH (0.700m-7.0m)	中嶋 優佳	軽井沢A&AC	6	12秒41	東信ジュニア・ユース	10/02	菅平	

全国中学校駅伝、全国高校駅伝の結果

第30回 全国中学校駅伝競走大会 開催日:2022年12月18日 会場:滋賀県希望ヶ丘文化公園



男子 堀金中学校 10位 59分48秒

区	距離	氏 名	学年	区間記録	区間順位
1区(3.0km)		猿田 創汰	3	9:26	⑥
2区(3.0km)		中澤 侑己	1	9:48	⑬
3区(3.0km)		百瀬 柊宏	3	9:43	④
4区(3.0km)		矢花 海空	2	10:13	⑳
5区(3.0km)		福田 晃大	3	10:18	⑭
6区(3.0km)		木下 陽真人	3	10:20	㉑
補 員 中嶋 俊樹 3, 曾山 凜太郎 3, 猿田 有輝 3					

女子 赤穂中学校 30位 46分33秒

区	距離	氏 名	学年	区間記録	区間順位
1区(3.0km)		川上 南海	2	10:36	⑤
2区(2.0km)		宮澤 和	2	7:36	㉑
3区(2.0km)		北澤 柊花	3	8:20	④
4区(2.0km)		高島 ことの	2	8:12	㉑
5区(3.0km)		小川 美紗	2	11:49	㉑
補 員 鈴木 翠央 3 木ノ島 玲李 2					

〔顧問〕 宮澤 真一

県中学駅伝で初優勝し、念願の全中駅伝への出場を果たすことができました。出場に満足することなく、「8位入賞」を目標に掲げ、クロカン対応の練習も十分に積んで滋賀に乗り込みました。

迎えた当日。1区でエース猿田が6位の好発進。3区百瀬は最後にトップに立ち4区へ先頭でタスキリレー。全国の舞台においてトップを走ったことは大きな自信となりました。4区以降も入賞が見える位置で奮闘しましたが、8位まで6秒及ばず第10位。

悔しさは大いに残りますが、今持てる力を十分出し切ったと思います。出場に際し、本当に多くの皆様の応援とご支援が力になりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



県中学駅伝 優勝 (長野市営陸上競技場 11/3)

〔顧問〕 加納 茉弥

長野県ナンバーである「17位以内」を目標に臨んだ全国中学校駅伝でしたが、目標には届きませんでした。初めての大きな舞台、初めての競技場、初めてのコース、全てにおいて初のものばかりで選手たちはきつと不安と緊張と少しの楽しみの狭間で全中までの日、そして当日を過ごしていたのだらうと思います。目標に届かなかったわけで、満足いく結果とはいきませんでした。最後まで前を向きひたむきに襷をつないだ選手たちを心から誇りに思います。同時に、来年も必ず滋賀の地に戻ってくると誓った選手たちを信じ、ともに日々の練習を精進していく思いです。



北信越中学駅伝 8位 (長野市営陸上競技場 11/26)

男子第73回 女子第34回 全国高等学校駅伝競走大会 2022年12月25日、たけびしスタジアム京都

女子 長野東高校 初優勝



陸上競技部顧問 横打 史雄

全国高等学校駅伝競走大会におきまして、県高校最高記録となる1時間7分37秒のタイムで初優勝を果たすことができました。生徒たちは一年間「都大路メダル獲得」という目標を掲げて努力を重ね、大きな快挙を成し遂げてくれました。

レースは1区名和夏乃子(2年)、2区窪田舞(1年)の下級生コンビがしっかりと流れを作り、先頭と13秒差の2位で序盤を乗り越えることができました。3区の仁科玲美(3年)は順位を一つ落としたものの先頭との差を17秒にとどめ、4区佐藤悠花(3年)が区間賞の走りで2位に順位を上げてアンカーにタスキをつなぎました。アンカーの村岡美玖(3年)がラスト2km地点で先頭の仙台育英を逆転し、初優勝のゴールテープを切ってくれました。

控えにまわった生徒たちもこの大会にしっかりとコンディションを合わせてくれ、選手のサポートも完璧にやり遂げてくれました。それぞれが自分の役割を果たし、「全員駅伝」を掲げる長野東高校らしい駅伝だったと感じています。

最後になりますが、長野陸上競技協会をはじめ多くの皆様に支えられて、こうした成果を残すことができました。この場をお借りして感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

長野東 1位 記録 1時間07分37秒 16年連続16回目

区	距離km	氏名	学年	区間記録	順位(区間)	出身中学
1	6.00	名和 夏乃子	2	19:26	4(4)	岡谷南部
2	4.0975	窪田 舞	1	13:12	2(7)	塩尻
3	3.00	仁科 玲美	3	9:56	3(3)	川中島
4	3.00	佐藤 悠花	3	9:18	2(1)	伊那松川
5	5.00	村岡 美玖	3	15:45	1(3)	波田
補		赤羽 真衣佳	3			女鳥羽
補		白田 麻花	3			下諏訪
補		橋詰 史歩	1			上田第六

男子 佐久長聖高校 準優勝



高校最高記録奪還

駅伝部顧問 高見澤 勝

全国高等学校駅伝競走大会におきまして、多くの皆様方にご支援ご声援をいただきたいおかげで、準優勝ではありましたが、チーム目標の「高校最高記録の奪還」を達成することができました。

しかし、表彰式で優勝と準優勝の大きな違いを目の当たりにして、準優勝で終わってしまったことへの悔しさが湧いてきました。準優勝で悔しいと感じられるのは、優勝をすることができるチャンスがあったからだと思います。

日本一になることは簡単なことではありませんが、今後も日本一を目指す取り組みを行っていき、優勝を勝ち取りたいと思いますので、今後とも応援の程よろしくお願いいたします。

佐久長聖 2位 記録 2時間01分57秒

25年連続25回目

高校最高新記録

区	距離km	氏名	学年	区間記録	順位(区間)	出身中学
1	10.00	永原 颯磨	2	29:30	2	川中島
2	3.00	濱口 大和	1	8:08	2(2)	羽ノ浦(徳島県)
3	8.1075	吉岡 大翔	3	22:51	2(2)	川中島
4	8.0875	山口 竣平	2	23:02	2(2)	津幡南(石川県)
5	3.00	長屋 匡起	3	8:52	2(5)	雄山(富山県)
6	5.00	篠 和真	1	14:50	2(5)	上平(埼玉県)
7	5.00	松尾 悠登	3	14:44	2(9)	下諏訪
補		小池 莉希	3			高陵
補		吉岡 斗真	2			川中島
補		小名 祐志	1			長泉(静岡県)

【過去の成績：順位】

年	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
佐久長聖	4	3	5	5	7	2	12	4	6

年	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015
佐久長聖	2	優勝	4	7	21	10	5	2	4
長野東	17	16	31	15	8	10	10	9	15

年	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
佐久長聖	2	優勝	5	3	5	5	2
長野東	6	2	2	9	20	7	優勝

スポーツ情報の提供

スポーツにおける貧血

(会員外の情報提供)

「真面目に練習しているけど結果が伴わない・・・」、「顔色が優れない」、「疲れが抜けない」等々、このような競技者は現場でよく見かけるケースです。貧血検査は受けていますか？

また、2016 年には日本陸連が「アスリートの貧血対処 7 か条」を公表し、鉄剤注射の自粛要請をしていますが、2018 年 12 月の全国高校駅伝前にこれらの使用に関する新聞報道等もありました。そこで、今回は「スポーツにおける貧血」として情報提供を寄稿していただきました。(理事長)

イチビキ株式会社 研究開発部 部長 西村 篤寿 (写真)

一般社団法人 臨床栄養医学
協会 理事 足立 歩



貧血とは

貧血とは「血液中のヘモグロビン濃度 (Hb) が低下した状態」を指し、Hb が成人男性で 13g/dL 未満、

学童や成人女性で 12g/dL 未満の状態をいう。

この Hb が低下すると酸素を運ぶ能力が低下するためパフォーマンス、特に持久力の低下を招く。

スポーツにおける貧血

スポーツにおける貧血はその原因から 3 種類に分けられるが、スポーツ選手で問題になるのは以下の 2 つとされている。

溶血性貧血

足裏にかかる衝撃により赤血球が破壊され、Hb が低下するもので、陸上長距離、バレーボール、バスケットボールなどの選手に多く見られる。エネルギー不足により破壊された赤血球の処理対応が迅速に行われず、貧血の重症化や改善が遅くなる場合もある。

鉄欠乏性貧血

鉄欠乏とは「体内の貯蔵鉄が不十分な状態や、様々な組織への鉄の供給が十分でない状態」で、その原因として「食事から摂取する鉄分の不足 (鉄摂取不足)」、「摂取はしているが吸収が悪い (鉄吸収障害)」、「慢性の出血や大量の汗による喪失 (鉄排泄増大)」、「成長や筋量増加により鉄が使われる (鉄需要増大)」などがある。

鉄欠乏性貧血の予防と治療

貧血の予防には定期的な血液検査 (Hb、血清鉄、フェリチン) で自分の状態を確認し、貧血が疑われる場合、医師に相談して原因を調べるのが重要である。鉄欠乏性貧血と診断されると鉄剤 (鉄 100~200 mg/日) が処方されるが、鉄剤には副作用 (悪心、嘔吐、腹痛、腹部不快感、下痢、便秘などの胃腸症状) が伴

うため継続できない選手も多い。最近では、鉄の過剰投与に伴う毒性が注目されており、鉄剤を漫然と継続的に投与することは避けなくてはならない。

また、「鉄分を多く摂っているのに貧血が改善しない」、「鉄剤を飲んでいのになかなか治らない」という場合、ヘプシジンが関与している可能性がある。ヘプシジンとは鉄吸収を抑制するように働くホルモンで、運動後の炎症が起こることでヘプシジンの産生が亢進し、腸からの鉄吸収を阻害することが知られており、利用可能エネルギー不足は更なるヘプシジンの増大をもたらす。逆にヘプシジンは低酸素や造血シグナルにより産生が抑制され、鉄吸収が促進される。

従って、貧血を予防するためには、鉄分豊富で利用可能なエネルギー不足にならない適切な食事の摂取や食事や鉄剤内服のタイミングにも注目する必要がある。

ここで、私達の開発した貧血改善効果を示す殺菌乳酸菌 (蔵華乳酸菌 LTK-1) の研究成果を紹介する。

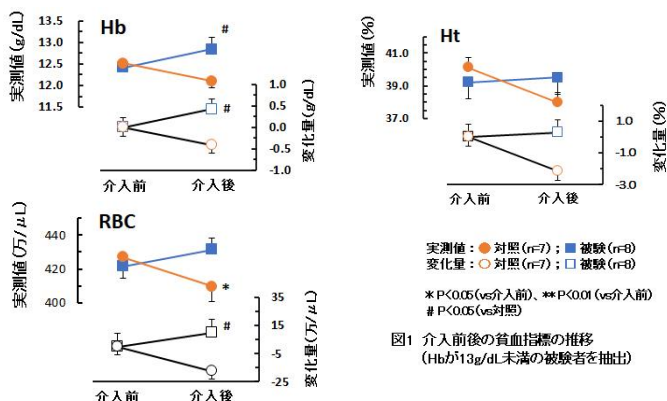
蔵華乳酸菌 LTK-1 の 女子スポーツ競技者における応用例

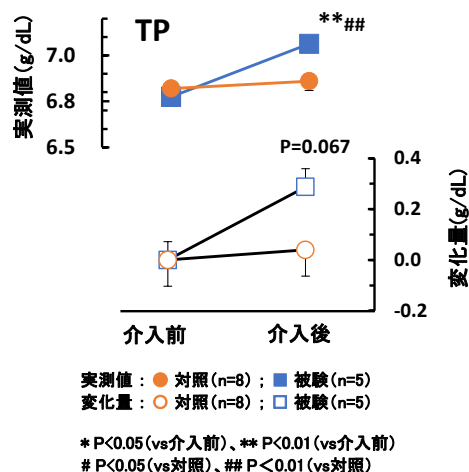
被験食品 (超速リカバー) のご紹介

スポーツ選手のエネルギー不足や貧血症状の改善を目指して「飲む点滴」と言われる「甘酒」をベースに LTK-1 を 1,000 億個とレモン果汁、ビタミン C、クエン酸、香料を配合し、スパウチ容器に充填した被験食品 (超速リカバー) を開発した。

方法及び結果

日本体育大学ハンドボール部に所属する健康な女子選手 30 名を無作為に 2 群 (n=15) に割り付け、毎日練習後に、被験食品あるいは対照食品 (市販スポーツゼリー (エネルギー)) を 1 個 (180g)、1 か月間摂取させた。その結果、貧血指標の評価として、女性スポーツ選手として望ましくない Hb (Hb<13g/dL) の被験者を抽出して層別解析を実施した結果、図 1 に示したように Hb、ヘマトクリット (Ht)、赤血球数





更に、エネルギー不足の指標となる総蛋白(TP)について、スポーツ選手として望ましくないTP(TP≤7)の被験者を抽出して層別解析を実施した結果を図2に示した。介入前後の変化量について解析を実施した結果、被験食品群は対照食品群と比較してTPを増加させる傾向を示した(P=0.067)。この結果は被験食品が同等カロリーの対照食品と比較して利用さ

(RBC)のいずれも被験食品群は増加、対照食品群は減少し、Hb、Ht、RBCの介入前後の変化量において両群間に統計学的に有意な変化が認められた(いずれもP<0.05)。

れやすいエネルギー源となることを示している。

これらの結果から被験食品の摂取が貧血気味のスポーツ選手の貧血症状を改善するだけでなく、スポーツ選手の問題点である「利用可能なエネルギー不足」の改善にも有効な手段となり得ると考える。最後に本研究に協力して頂いた日本体育大学女子ハンドボール部は、試験期間中に行われた全日本インカレで3位という好成績を収めた。

蔵華乳酸菌 LTK-1 の 男子スポーツ競技者における応用例

超速リカバーの共同開発者で、実際にスポーツ選手の栄養サポートを行っている足立氏に貧血症状に苦しんでいた高校2年生長距離選手(A君)の事例をご紹介します。

A君はとても練習熱心で真面目に競技に取り組む選手でしたが、食が細く、貧血症状で通常の練習も消化できない状態でした。貧血には鉄分補給が大切と考え、日々の鉄分摂取には十分気をつけていましたが、改善されず途方に暮れておりました。

そこで、図3に示したように朝練習前、午後練習直後の糖質補給、食事量全体の増量など改善に着手しました。1ヶ月後には図4に示したようにヘモグロビン値の改善が見られ、通常練習に復帰することができました。

夏合宿でも順調に練習を重ね、4ヶ月後には自己ベストを更新するまでに回復しました。11月に行われた駅伝の県大会では区間賞を受賞しました。

最後に

スポーツ選手の中には貧血で苦しんでいる選手が多い。貧血と言えば鉄分補給すれば良いと考えがちだが、貧血予防のポイントは、「鉄分にとらわれず、満遍なく食べる」、「練習後のエネルギー補給」、「炭水化物は朝・昼・夕しっかり摂る」、「食事間隔を空けない」ことと考えます。貧血に悩む選手、保護者の皆様に少しでもお役に立てれば幸いです。

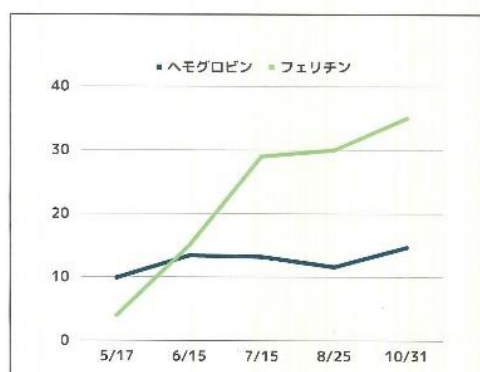
参考文献

- 1) 張替秀郎：日本内科学会雑誌, 107, 1921-1926 (2018)
- 2) 西村篤寿ら：薬理と治療, 48, 1755-1765 (2020)
- 3) 西村篤寿、杉田正明：FOOD Style 21, 26, 39-45 (2022)

図3 「脱貧血！」実際に改善した食事プラン



図4 貧血症状の選手の血液検査推移



高校2年生 男子長距離選手 (県駅伝区間賞)

【当時の練習状況・改善内容等】

- 5月 通常練習の消化が出来ない特にインターバルの後半失速
- 6月 朝練前、午後練習直後の糖質補給開始 食事量全体の増量等、改善!
- 7月 通常練習への復帰 夏合宿開始 (標高1,100m~1,300m)
- 8月 夏合宿終了 (合計20日間)
- 10月 練習好調・自己ベスト更新

2022 年度を振り返って (代表理事・業務執行理事)

2022 年度の最終的な事業報告は 6 月開催予定の評議員会で審議されます。ここでは、代表理事と業務執行理事の、取りまとめ内容を掲載します。

I. 定款第 10 条(1)に即した事業報告<全般>

今年度は理事と監事各 1 名が辞任し、5 月 28 日に開催された第 31 回評議員会において新たな役員が選出され第 12 期がスタートし、新型コロナウイルス感染拡大防止対策、新競技場基本及び実地設計に関する様々な対応、更にはガバナンスコードへの対応を継続課題として各種事業を実施してきました。

事業全般については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、参加者数は縮小したままでしたが、観客は競技者との接触機会を減ずる対策や声を出しての応援を制限するなどの対策を取り入場を認めることができるようになりました。しかしながら、審判員や補助員の当日欠席もあり、人数的に厳しい状況での競技運営が続きました。また、長野マラソンと松本マラソンは 3 年ぶりに開催され、長野県縦断駅伝は規模が縮小され、長野市から岡谷市までの 1 日開催でコースと区間を一部変更し実施されました。

大きな課題である 2028 年国民スポーツ大会開閉会式場となる新競技場については実施設計が終了し、最終確認の段階となっていますが、建築関係資材が 12～13%高騰し、予算的に厳しい状況となり、県、設計業者と本協会との協議を継続的に行っています。

<項目別>以下の事業等を実施しました。

1. 陸上競技の普及、2. 強化・育成に関すること、長野県の代表選手を選定し派遣すること。

第 18 回 世界陸上競技選手権大会(オレゴン)7 月 15 日(金)～24 日(日)に次の 3 名が選出された。君嶋愛梨沙(土木管理総合試験所・山口県出身)4×100m リレー予選/1 組 7 着 43 秒 33 日本新記録、萩谷楓(エディオン・長野東高校出身)5000m 予選/1 組 14 着 15 分 53 秒 39、小林成美(名城大学4・長野東高校出身)10000m 棄権。

第 19 回 U20 世界陸上競技選手権大会(コロンビア・カリ)8 月 1 日(月)～6 日(土) 5000m で吉岡大翔(佐久長聖高校3)が 7 位(14 分 10 秒 68)に入賞した。

第 49 回全日本中学(福島)8 月 18 日(木)～21 日(日)では、個人種目 20 名(男子 11・女子 9)、リレー男女 1 チームずつ、合計 30 名が出場し、優勝 1 種目を含め、5 名(男子 1 名、女子 4 名)が入賞した。中でも、女子 100m で寺平祈愛(木祖)が、11 秒 89 で、県勢 43 年ぶりの優勝、男子 100m では丸山竜平(相森)が 10 秒 84 で、22 年ぶりの県中学新記録で第 3 位、女子 100mH 並木彩華(野沢)が 13 秒 96 で、予選に続き県中学新記録で 6 位入賞を果たした。寺平祈愛(木祖)は北信越中学(長野市 8/3)で 11 秒 80 の北信越中学・長野県中学生・大会新記録を樹立した。

第 75 回全国高校(徳島)8 月 3 日(水)～7 日(日)では、女子やり投で倉田紗優加(伊那北 3)が 53m82 で優勝、女子棒高跳で岡田莉歩(佐久長聖 2)が 3m90 で 3 位、男子 1500m で松尾悠登(佐久長聖 3)が 3 分 45 秒 69 で 2 位、男子 3000mSC では永原颯磨(佐久長聖 2)が 9 分 4 秒 75 で 2 位、女子 4×400m で佐久長聖高校が長野県で初入賞 8 位を果たすなど、全体で男子 4 種目、女子 4 種目が入賞を果たした。

第 57 回全国高校定時制通信制(駒沢)8 月 1 日～8 月 3 日、男子では岡田遥人(松本国際 4)が 800m と 1500m で優勝、山崎優葵(つくば開成学園 3)が 5000m 優勝、800m 6 位、女子では住凜華(松本筑摩 4)が円盤投優勝、砲丸投 2 位、簾田たまみ(松本国際 1)が走幅跳で 3 位、木村歩実(松本国際 1)が 200m で 5 位と活躍した。

第 57 回全国高等専門学校陸上競技(愛媛)8 月 20 日(土)～21 日(日)で、長野高専が男子優勝 1 種目を含む 7 種目に 8 名が入賞し総合 3 位、女子は優勝 3 種目を含む 4 種目 5 名が入賞し総合 2 位となった。

第 77 回国民体育大会(栃木)では、選手 29 名が 29 種目に参加し、種目別天皇杯(男女)14 位(素点 55.5 点)、皇后杯(女子)18 位(素点 24.5 点)、12 種目で入賞し、少年男子 A5000m の優勝をはじめ 7 種目が上位入賞、また男子成年少年共通 4×100m リレーでは 2019 年茨城国体に続き 2 大会連続で決勝進出し 6 位入賞を果たすなど活躍した。今後は、2025 年までの目標である素点 65 点、入賞数 15 以上、2028 年種目別優勝という高い目標達成のためには更なる強化が必要と言える。

第 30 回全国中学校駅伝(滋賀県)12 月 18 日、男子は堀金中学校が 10 位、女子は赤穂中学校が 30 位。

男子第 72 回 女子第 34 回全国高校駅伝(京都市)12 月 25 日では、女子は長野東高校が初優勝、男子は佐久長聖高校が高校最高記録で準優勝を果たした。

皇后盃 第 41 回全国都道府県対抗女子駅伝(京都市)2023 年 1 月 15 日は、11 位。

天皇盃 第 28 回全国都道府県対抗男子駅伝(広島市)2023 年 1 月 22 日では、9 回目の優勝を果たした。

3. 陸上競技の大会及び記録会を開催すること

本協会主催、共催、主管大会は中止することなく実施できた。松本平広域公園陸上競技場が取り壊されるため、「Last run 閉場記念 第 75 回 長野県陸上競技選手権大会(記念イベント)」として、「独立行政法人日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成金」の交付を得て実施した。

4. 陸上競技の指導者を養成すること

(1) 日本スポーツ協会公認指導者資格取得研修会へ櫻井奈帆先生(飯田高校)、跡部定一先生(野沢中)、新村守先生(東海大諏訪高)、芳川千恵先生(高社小)、犬飼七夕子先生(赤穂中)の合計 5 名を派遣し、「陸上競

技公認コーチ3」の取得に向け受講中である。

(2)「スタートコーチ」養成講座を12月に長野市営陸上競技場で実施し、25名が受講した。

5. 審判員及び検定員の資格付与に関すること

今年度は、S級昇格3名を日本陸連へ推薦した。また、A級昇格8名、B級新規取得61名(一般23名・高校・高専3年生38名)。2018年度から実施している高校3年生を対象とした講習会を今年度も別枠で実施(地区新人大会時)し、取得を勧めた。長年のB級審判員に、A級昇格を強く働きかけたい。

6. 陸上競技の研究し、機関紙、刊行物の発行

2022年度要覧は令和4年4月22日に発行し、審判登録会員全員に配布した。会報は「スポーツ振興くじ」の助成を得て、175号(R4年8月11日)を発行し、176号はR4年12月1日、177号はR5年3月31日に発行した。また、長野陸協ホームページ上で、各種事業・大会等、日本陸連、日本スポーツ協会、長野県スポーツ協会、長野陸協協賛企業各社他の情報を随時提供している。(株)杏花印刷「長野の陸上競技2022総集編」(2023/3/12発売)を監修した。

7. その他、この法人の目的達成のために必要な事業を行うこと

(1)2028年に開催が予定される2巡目の長野国民スポーツ大会に向けてプロジェクトを進めている。

(2)長野陸協定款及び各種規程等の見直しを行い、定款は第33回評議員会において改定が認められた。

(3)一般財団法人向けガバナンスコードへの対応について、JSP0 ガバナンスコード自己説明最新版は2023年1月8日にWeb上で公開した。

(4)(公財)日本スポーツ協会(JSP0)から「ウクライナへの義援募金」の要請を受け、各支部へ協力を求め総額21万円を7月末に送金した。本協会協力支部等は次のとおり(諏訪、飯伊、千曲、長野市、須坂、上田、東信陸協)。義援金は、特定非営利活動法人国連UNHCR協会(日本における国連難民高等弁務官事務所(UNHCR)の公式支援窓口)に寄付された。JSP0への寄付金総額14,348,459円(1回目6月:4,000,000円、2回目8月:10,348,459円:JSP0 Webより)

II. 定款第27条3項に即した代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

代表理事・会長 萩原 清

各種競技会、評議員会及び理事会への出席。松本平広域公園改修工事に関する県への要望と協議(随時)。理事長から提出される各種課題についての協議対応、並びに協賛金の獲得などについて随時行っている。

代表理事・理事長 内山 了治

第70~77回理事会、臨時理事会並びに第31~33回評議員会の招集、資料、議案書作成・送付、会議議長、議事録作成、新競技場に関する対応などを行う。

日常的な業務としては、事務局の運営、対外的な会議への出席、財務関係の調整、補助金・協賛金の獲得、会員向けNAA連絡70回発行、会報と要覧作成・発行などを行っている。

業務執行理事・副理事長(競技運営担当) 葛城 光一

昨年から続く新型コロナ対策については、陸連ガイドダンス、県の方針等を踏まえ、観戦についての制限を無くした中で競技会運営を行ってきました。県選手権では、松本競技場の閉場イベントを行い多くの一般の方の参加をいただく中で無事終了しました。

駅伝シーズンでは、県縦断駅伝1日開催に伴い、今年度は長野市から岡谷市のコース区間設定・修正を行いました。今後もコロナ感染対策を万全にする中で粛々と運営を行っていききたい。

業務執行理事・副理事長(施設用器具担当) 田澤 稔

新競技場工事計画にともない、補助競技場の設備、写真判定室設置計画、仮設用器具庫の配置計画等県本部役員との連携を取りながら、県施設課担当、松本建設事務所公園管理課と連絡を取り合っている。社会情勢などいろいろな影響で工事の大幅な遅れがあり、今後の方向も不透明である。その都度、情報を収集しながら、会員にも周知、徹底していききたいと考える。

松本平陸上競技場内の用器具の故障、不備などこの期間に修繕依頼を進めていきたい。現状では、スタートのピストル2丁ほど申請中である。

業務執行理事・副理事長(普及強化担当) 中津 敦喜

長野県の代表選手を選定し派遣すること:詳細は、普及強化委員会(強化部、駅伝部、ジュニア部、普及部)の事業報告をご参照ください。

主たる執行として次の事業について選手、コーチ、トレーナー派遣の執行を行なった。全国小学生陸上競技会、国民体育大会、東日本女子駅伝、U16男女4×100mリレー、U18/U16陸上競技大会、東日本女子駅伝、都道府県対抗駅伝。これら大会派遣に伴う強化合宿・練習会・クリニック、指導者講習会の実施。

強化部が開催する国体候補・一線級強化練習会等は、中学2年生以上のジュニア世代もコーチがジュニア部と連絡を取り合い、選抜していく予定。同様に小学高学年の普及世代もコーチが普及部とジュニア部と連携していく予定です。

業務執行理事・副理事長(コンプライアンス他担当) 上原 羊二

コンプライアンス研修については、競技会ごとのプログラムに示し周知を進めてきた。

スタートコーチ講習会については25名の受講者にて12月11日長野市営陸上競技場にて実施できた。

昨今のスポーツを取り巻く状況は、指導者の充実と指導力の向上が強く求められており責任を果たしたい。

2023 年度の Kick off にあたり (内山代表理事・青柳競技運営委員長)

2023 年度は役員(理事・監事)の改選期となります。改選期は定款細則第 12 条 8 項により「その事業年度内に次年度の候補者を確定し、新事業年度開始から最終の評議員会終結までの期間は現役員と共に業務を執行する」としています。新役員候補者は NAA 連絡にて周知したとおりです。この確定のために、2023 年 3 月 12 日開催の第 34 回評議員会で定款の改定が認められました(施行は 6 月 10 日)。以下に改定の趣旨、大まかな内容を示します。また、2023 年度事業案も承認されましたので抜粋します。

1. 定款の改定、定款細則の改正

(1) 事務所移転: 塩尻市広丘吉田: 塩尻北 IC を降り、国道 19 号線を越えた場所に事務所を借用しました。

(2) 組織が変更されます。

- ・二人目の代表理事を副会長に変更します。
- ・理事長を専務理事へ、
- ・副理事長を常務理事へそれぞれ名称変更します。

これらにより、これまで代表理事として理事長が法的責任と業務執行を兼ねていたものを、法的責任は正副会長に、業務執行は専務理事に分離します。同時に、本協会と法的役員の整合が取れます。

副会長は業務執行理事として責任を果たします。

一般法	<改定>	<現行>
代表理事	会長	会長
代表理事	副会長	理事長
業務執行理事	副会長 4 名以内 専務理事 常務理事 4 名以内	副理事長 4 名以内
理事	理事	理事(副会長)

- ・総務委員会と庶務部は廃止し、これらの業務は事務局業務に移行します。
- ・女性部は「女性スポーツ委員会」に名称変更。
- ・「アスリート委員会」を新設。競技者の声を協会運営、競技会運営等に反映しやすくします。
- ・「周年記念事業実行委員会」の新設。本協会創立 80 周年記念事業等を進めます。
- ・法制委員会は特別委員会とします。

2. 事業案について

定款に掲げられた目的を達成するため、定款に沿って各種事業を遂行する。また、5 年後に迫った 2028 年「信州やまなみ国スポ・全障スポ」(以下、国スポと省略する)に向けて 4 つのプロジェクトを立ち上げておりそれを更に推進します。

【重点項目】として次の 5 項目を掲げます。

(1) 中・長期目標の設定。不足している各種規程につ

いて整備する。

- (2) 競技会における事故防止対策の徹底と“3 つの Friendly”の具現
- (3) 2028 国民スポに向けた指導者養成、競技力向上及び審判員体制の準備。
- (4) 2022 年度に総務委員会女性部から格上げした女性スポーツ委員会では、ジェンダー平等や人権、女性のスポーツや審判業務全般に関する問題全般について対応する。
- (5) 新設されたアスリート委員会を始動し、競技者の声を協会並びに競技会運営に反映させる。

上記の中で、日本スポーツ協会(JSP0)ガバナンスコード自己説明の評価を高められない項目として、「中・長期目標の設定」は早急に対応しなければなりません。同時に「不足している各種規程」として、「倫理規程」、「懲罰制度の構築」、「危機管理及び不祥事対応体制の構築」についても鋭意進める必要があります。特に、懲罰制度については本協会には馴染まない面もありますが、日本スポーツ協会、日本陸上競技連盟、長野県スポーツ協会などを参考にし、本協会会員登録規程第 3 条への違反に対する処分(同 9 条)の内容整備、競技役員として競技者に不利益な行為や怪我等を負わせた場合などの対応について、整備することが急務となります。

また、コンプライアンス関係については、職場等様々な機会研修されていると思いますが、本協会でも指導者や競技者にも拡大し周知・徹底する必要があります。この 3 月に開催された「令和 4 年度 SGW 登録団体対象コンプライアス研修」講師の公認会計士 得田進介先生の説明が明快ですので、下記に引用させていただきます。(SGW:スポーツガバナンスウェブサイト)

- ガバナンスとは、不祥事や間違いを防止するための仕組み
- コンプライアスとは、組織内外の規程や法律、常識を含めたルールを守ること
- アカウンタビリティーとは、計画を基に資金の必要性を説明し、実際の使途を組織内外に報告する責任のこと

この研修では、上記 3 つの関係の重要性が強調されました。本協会では 3 番目のアカウンタビリティーについて、徹底されていない面が目につきます。地区、支部或いは協力団体において、決算報告等がメンバーに確実に周知されているか、各種業者選定の際に複数業者からの見積もりを取得し検討しているか、更には、役員の選出方法の透明性が担保されているか等、点検をお願いします。

【事務局】

これまでの総務委員会、庶務部の業務内容を事務局で担当し、以下の業務を効率よく進める。

1. 経理、文書管理、会員名簿管理
2. 各種会議・事業の企画運営
3. 会員、競技者登録業務
 - (1) 登録申請業務。2023年度システム変更
 - (2) 会員の住所録の整理
 - (3) 電子データのデータベース化
 - (4) ネクタイ、審判員章、審判手帳等の販売、管理
 - (5) 新規団体登録「設立承認申請書」への対応
4. 広報業務：会報、要覧、年報の発行
 - ・NAA-連絡(会員向け各種情報提供)の発行
 - ・ホームページ、E-mailでの広報連絡等を行う

【専門委員会】

① 財務委員会：協会運営の財政面安定化を目指して、収支バランスの確認、旅費規程の見直し、賛助会員並びに協賛企業の増加を目指す。

① 競技運営委員会：新競技場完成までの間、競技会は代替地で行なわれる。情報機器やスクリーンを多用した競技会ができなくなるため、どのようにスキルを維持していくか、考えていかなければならない。

日本選手権混成競技でレベルアップした審判技術を、2028年国スポを意識しながらこれからも競技運営の質を落とすことなく邁進していきたい。“魅せる競技会”を目指し、ディレクター制による競技会運営にさらに磨きをかけ審判技術の向上を図るとともに、“3つのFriendly”の視点で、選手、役員、観客が一体となった競技会を目指した運営をしていきたい。

また、コロナ禍における競技会は国の基準変更に伴い対応していく。今までにおける競技会運営で得たノウハウを継続するとともに、さらに効率がよく、より安全な方法を求めながら対応していく。登録審判員の高齢化に伴い競技役員の不足も予想されるが、これを機に補助員の削減を含めた審判体制の見直しを継続するとともに、新規取得者の獲得や若手審判員の積極的な登用を行い、2028信州やまなみ国スポに向けた取り組みに繋げたい。

○競技運営委員会の実施(競技会終了後またはオンラインにて1回/月) ※資格審査を兼ねる

○障がい者大会運営に関する研修、準備を進める。

☆ 審判部：審判編成、WEB上での意向調査の実施。不足しがちな部署の審判養成・若手発掘。審判講習会の実施。審判員昇格・新規取得手続き。審判技術向上の研究

☆ 競技部：競技会の計画・立案、公認申請(WA、日本陸連)、実施種目の決定、要項の作成、標準記録・ターゲットナンバーの設定。プログラム編成等を行う。

☆ 道路競技部：駅伝競走大会・ロードレースについて、関係外部機関との打ち合わせ、運営。特に県縦、コース変更の市町村対抗駅伝の体制検討を行う。

☆ 記録部：日本陸連公認申請業務、DATA_WEBの運用(競技会結果・各種ランキング)。

① 施設用器具委員会：新松本陸上競技場整備事業との連携。県内公認陸上競技場等整備維持に関する事務。検定員・技術役員会議等陸連研修への参加。施設用器具全般に関する事項の実施。

① 普及強化委員会

☆ 強化部：選手育成強化事業、指導者育成事業・選手県外派遣事業、選手サポート事業、帯同コーチ、国体選手選考会議、備品購入等

☆ 駅伝部：派遣試合と【目標】

11月13日 東日本女子駅伝(福島)【メダル獲得】

12月18日 山陽女子ロード(岡山)【2022以上】

1月15日 全国女子駅伝(京都)【メダル獲得】

1月21日 全国男子駅伝(広島)【優勝】

全国都道府県対抗駅伝に向けての強化練習会・合宿

☆ ジュニア部：選手育成強化事業(中体連強化部・陸協強化部との共催による選手強化練習会・強化合宿、指導者育成事業(指導者講習会の実施、指導者のスキルアップ、ジュニア部ホームページの活用等)

☆ 普及部：派遣事業(日清食品カップ第38回全国小学生陸上競技交流大会)、普及事業(陸上教室、選抜練習会、トップアスリート陸上教室)、諸会議開催。

① 医事委員会：医療救護活動、各種会議等への出席

☆ 医事部：大会時のドクター派遣計画を早めに行う。スポーツドクターの増員

☆ トレーナー部：日本陸連研修会への参加、陸連トレーナー部セミナー受講者選考と推薦。

① 女性スポーツ委員会：ジェンダー平等や人権、女性のスポーツや審判業務全般に関する問題全般について対応する。委員会の開催、競技会における託児室開設(各回定員5名)、競技会でのアスリートへの写真・動画による性的ハラスメント防止の取り組みの実施、女性アスリート講演会等の実施、女性指導者、役員及び審判員の増加及び資質向上に関わる取り組み、ジェンダー・JGBT等に関わる取り組み等。

① アスリート委員会：競技者の立場からの意見を取りまとめ、本協会の意思決定に反映させるとともに、競技者育成並びにこの協会の発展に寄与できるよう項目・内容を明確にし活動する。

【特別委員会】

① 法制委員会：各種規程の見直し、倫理規定ならびに会員を「守る、保護できる」規程の立案について検討する。罰則規程、文書管理規程等の整備を進める。

① 栄章審議委員会：本協会以外の栄章候補者推薦、本協会栄章候補推薦、栄章規程の改正案作成他。

① 人事・評議員選定・役員選出委員会：2023年度改選評議員の選定。ガバナンスコードへの対応について、コンプライアンス研修などの検討。競技会での事故等への対応等。

① 周年記念事業実行委員会

☆ 事業部：「長野陸協創立八十周年記念事業」開催に向けた準備を進める。

☆ 記念誌編纂部：「長野陸協創立八十周年記念誌」発行に向けて準備を進める。

競技者・監督の皆さんへ 2023 年度競技規則修改正のポイント

(一財) 長野陸上競技協会 競技運営委員会

今年度の修改正は、表現の統一化や明確化に伴う修正にとどまっており、競技者に影響を与える大きな修改正はありません。しかし、昨年度に引き続き今後修改正が予定されている部分の告知もあります。競技規則や諸規定を確認の上、競技会に参加されますようお願いいたします。

○WA による競技会・記録の大枠の考え方の変更

- ・国際競技会 → ワールドランキングコンペティション(World Ranking Competitions)
- ・ワールドランキングコンペティション対象競技会→「WRk 対象競技会」と表記。(WRk: World Ranking の略)
- ・2023 年 1 月より、WRk 対象競技会での記録でなければ世界記録・ワールドランキング・世界陸上等の大会の参加資格取得に必要な記録(参加標準記録)の対象とならない。

○TR5.2 競技用靴(再掲…昨年度からの変更なし)

引き続き、トラック・フィールド・ロード すべての競技に適用(駅伝競走を除く)。

⇒医療および安全上の理由から、競技用靴(市販されているものに限る)へのインナーソールの追加、その他の物の挿入および追加は以下の条件でのみ認められる。

- 中敷(インナーソール)の追加または挿入物は、取り外し可能な装具であること(靴の内側に恒久的に固定することはできない)。
- 追加物は、ヒールレイズまたはヒールキャップ(例:跳躍競技用靴)、ブレースまたはストラップ(例:投てき競技用靴)とする。

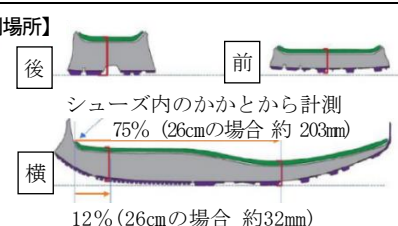
★靴底の最大の厚さは購入時から装着されているオリジナルのインナーソールを含む厚さを計測。

《競技用靴・靴底厚さ表 2024 年 10 月 31 日まで有効》 ※変更なし

種 目		最大の厚さ	その他の要件/注意
トラック	800m 未満	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
	800m 以上	25mm	
	競歩競技	40mm	トラック競技・道路競技
フィールド	三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
	それ以外 ※全ての投てき種目、高さの跳躍及び、三段跳を除く長さの跳躍種目	20mm	
クロスカントリー		25mm	
ロード		40mm	

【重要告知】2024 年 11 月 1 日以降、靴底厚が下記の表に記載されている最大の厚さを超える既存靴は承認されなくなり、対象競技会では着用できなくなることに注意してください。

《競技用靴・靴底厚さ表 2024 年 11 月 1 日から有効》

種 目	最大の厚さ	その他の要件/注意
トラック種目 ハードル種目 障害物競走	20mm スパイクシューズまたは ノン・スパイクシューズ	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用。競技場内で行う競歩競技の靴底の厚さは、道路競技と同じとする。
フィールド種目	20mm スパイクシューズまたは ノン・スパイクシューズ	全跳躍種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
道路競技 (競走・競歩)	40mm	【靴底の計測場所】 
クロスカントリー	20mm スパイクシューズか 40mm ノン・スパイクシューズ	

※本競技会では、踵から12%の部分を実測します

◎詳細については、審判講習会資料もしくは 2023 年度版陸上競技ルールブックを参照されたい。

文責：青柳 智之(日本陸上競技連盟競技運営委員会委員・JTO/長野陸上競技協会競技運営委員長)

©Japan Association of Athletics Federations. All Rights Reserved. T.AOYAGI



2022年11月7日～2023年2月18日/3月19日 主要大会結果一覧 (まとめ 記録部長 瀧沢 佳生)

2023日本室内陸上競技大阪大会

2月4日～5日 大阪・大阪城ホール

▶U18男子60mH(0.991m/9.14m)

④小口 蒼葉(東海大諏訪高1+) 8.13

⑥中村 駿汰(松本国際高1+) 8.18

▶U18男子走幅跳

⑥鈴木 瑛翔(赤穂高1+) 6.79

▶U18女子60m

⑥寺平 祈愛(木祖中3+) 7.72

▶U16女子走幅跳

④柳平 紗希(茅野アスチックス2+) 5.32

第8回全国中学生クロスカントリー大会

2月5日 滋賀・希望が丘

▶男子1年2km

⑧井沼 佑樹(赤穂1+) 6:24

▶男子3年3km

③猿田 創汰(堀金3+) 9:15

▶男子1年チーム対抗

⑦高森(橋本 蒼平・本島 岳・鳥海 倅正)

▶男子3年チーム対抗

①堀金(猿田 創汰・百瀬 柁宏・木下 陽真人)

④赤穂(下島 凌空・玉木 輝・渋谷 悠斗)

▶女子2年2km

③川上 南海(赤穂2+) 6:48

▶女子3年2km

⑥真柴 愛里(春富3+) 6:59

▶女子1年チーム対抗

⑥鼎(後藤 朱里・飯澤 花歩・水野 眞子)

▶女子2年チーム対抗

①赤穂(川上 南海・小川 美紗・宮澤 和)

第10回アジア室内陸上競技選手権大会

2月10日～12日 カザフスタン・アスタナ

▶女子60m

⑤君嶋 愛梨沙(土木管理総合) 7.40 県新

第44回世界クロスカントリー選手権大会

2月18日 オーストラリア・パース

▶U20男子8km

-吉岡 大翔(佐久長聖高3+) DNF

▶U20女子6km

②村岡 美玖(長野東高3+) 23:07

第106回日本選手権クロスカントリー競走

第38回U20日本選手権クロスカントリー競走

2月26日 福岡・海の中道海浜公園

▶男子10km

⑥宇津野 篤(神奈川大3+) 29:47

▶U20男子8km

①永原 颯磨(佐久長聖高2+) 24:01

⑥山口 竣平(佐久長聖高2+) 24:22

▶U20女子6km

①名和 夏乃子(長野東高2+) 20:20

男子・第46回春の高校伊那駅伝2023

3月19日 伊那市陸上競技場発着～高遠

町商店街折返し 全6区間:42.195km

▶総合の部

①須磨学園2:07:48 ②埼玉栄 2:08:58

③大牟田 2:08:59 ④倉敷 2:09:39

⑤洛南 2:09:49 ⑥東農大二 2:09:53

⑦出水中央2:10:09 ⑧佐久長聖 2:10:30

▶県高校新人・男子

①佐久長聖2:10:30 ②上田西 2:18:54

③長野日大2:20:42 ④伊那北 2:29:33

⑤飯山 2:30:39 ⑥松本県ヶ丘2:35:06

女子・第39回春の高校伊那駅伝2023

3月19日 伊那市 全5区間:21.0975km

①立命館宇治1:10:41②仙台育英1:12:39

③長野東1:13:18④大阪薫英女学院1:13:33

⑤学法石川 1:13:45 ⑥旭川龍谷 1:14:19

⑦北九州市立1:14:27⑧豊田大谷 1:14:31

▶県高校新人・女子

①長野東 1:13:18 ②長野 1:33:10

③伊那西 1:34:51 (フィニッシュ3校のみ)

第27回 中学生長距離競走伊那大会

3月19日 伊那市

▶男子3000m

①小林 睦(富士見3) 8:55.23

②田中 秀磨(長野日大3) 8:58.18

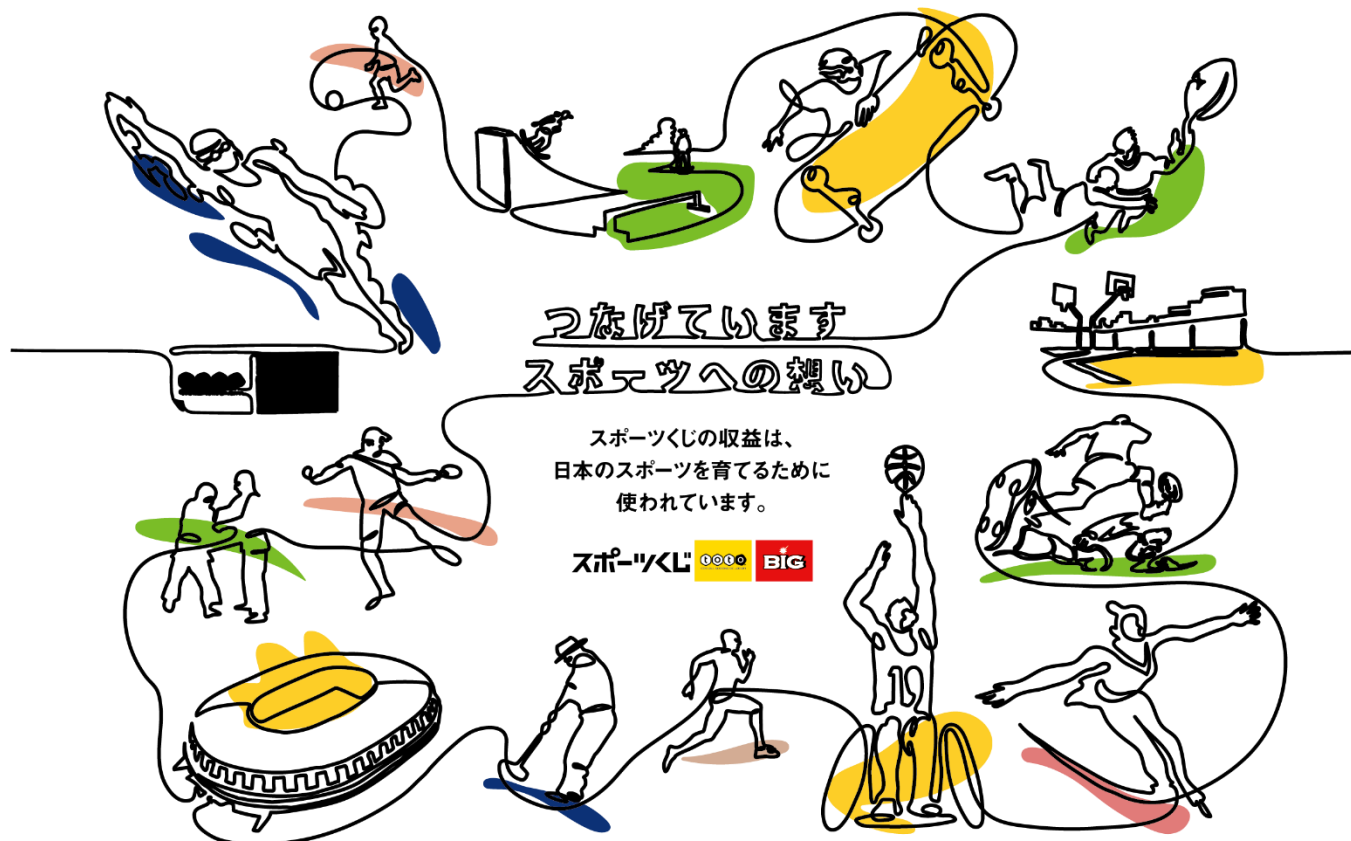
③岸本 莞爾(長野日大3) 8:59.85

▶女子2000m

①真柴 愛里(春富3) 6:38.95

②川上 南海(赤穂2) 6:42.26

③羽生 風(駒ヶ根東2) 6:47.24



長野陸協会議録・Topics・お知らせ他

第77回理事会(ハイブリット)1月28日(土)13時30分～16時

場 所: 安曇野市 ANC 体育館会議室と On-line

出席者: 理事23名、監事1名、理事以外の出席者2名

I. 協議事項 全ての議案は原案どおり承認された。

第1号 2022アスレチックスアワードについて(案)

第2号 第71回長野県縦断駅伝反省と2023年の方針(案)

第3号 第32回市町村対抗駅伝・第18回小学生駅伝(案)

第4号 2023年度JSP0・JAAF公認コーチ3受講者推薦(案)

第5号 2023年度公認コーチ1等の県内開催について(案)

第6号 2023年度主要大会競技日程について(案)

第7号 定款細則等各種規程の見直し(案)

第8号 審判員A級昇格者とB級新規取得者について(案)

第9号 今後と改選期の予定について(案)

II. 報告事項

1. 2022年度全国普及育成・指導者養成担当者会議報告

2. 新松本平陸上競技場の進行状況

3. 長野マラソンについて

4. 全国都道府県対抗駅伝結果等について

5. 2023年度登録について

6. ガバナンスコード自己説明書と今後の課題

7. 2022年度東海陸協 2023年1月常務理事会報告

第78回理事会 2月25日(土)13時30分～16時

場 所: 安曇野市 ANC 体育館会議室

出席者: 理事22名、監事2名、理事以外の出席者なし

I. 協議事項 全ての議案は原案どおり承認された。

第1号 定款の改定及び諸規程改正(案)

第2号 2023年度事業について(案)

第3号 2023年度登録について(案)

第4号 2022年度事務局経費について(案)

第5号 2023年度各種業者委託について(案)

第6号 2023年度一般会計予算について(案)

その他 2023-2024年度東海陸協常務理事・理事について

II. 報告事項

1. 新松本平陸上競技場の進行状況

2. 長野マラソンについて

第33回評議員会 3月12日(日)午前10時～11時30分

場 所: 安曇野市 ANC 体育館会議室

出席者: 評議員6名、理事9名、監事1名

I. 協議事項 全ての議案は原案どおり承認された。

第1号 定款の改定について(案)

第2号 2023年度事業(案)

第3号 2023年度一般会計予算・普及強化予算(案)

第4号 2023-2024年度 理事の選任について(案)

II. 報告事項

第77回及び第78回理事会協議・報告事項について

臨時理事会 3月12日(日)13時30分～14時30分

場 所: 安曇野市 ANC 体育館会議室

出席者: 新理事候補者22名、監事1名、理事以外の出席者1名

第1号 役員候補者の選出(会長1名、副会長4名以内)

第2号 専務理事1名、常務理事4名以内の選出

第3号 理事候補者の役職案について

以上

お悔やみ (2022/12/15 ~ 2023/3/28)

陸上競技並びに本協会発展のために、永年にわたる多大なるご尽力に感謝申し上げます。

謹んで哀悼の意を表します。(敬称略)

	逝去者	支部	逝去日	享年
(元会員)	原 直巳	佐久	1. 8	82
	一本鎗 武夫	上田	1. 26	77
参与	米山 正敏	上伊那	2. 8	97
	大角 貞夫	佐久	3. 20	84



Topic-1 ラジコンカーによる投てき物の運搬



上伊那支部会長 遠山 正洋先生が自作されました。

「落下エリア付近の待機場所での生徒役員(補助員)を減らすことが出来て、安全管理に貢献している」とのことです。

〔仕様〕「子供向け電動乗用ラジコンカー」FORD RANGERを改造。全長:1.340mm、前幅:820mm、車体の高さ:750mm、重量:約26kg、車体バッテリー:12~14V対応、モーター:35W×2、ステアリング:2サーボ(20kg対応トルク)、プロポ:Futaba T8J 2.4GHz、受信機:Futaba互換器

<https://www.youtube.com/watch?v=wdpVvhemShQ>

Topic-2 恩師のインタビューに緊張(高見澤先生)

TV解説の東海大教授両角速先生(春の高校伊那駅伝2023)

1. 2023 年度前期競技会意向調査 4月14日(金) 締切

以下の3つの方法にてお願いします。

①Googleフォームにて回答:QR<宛先に掲載>又は次のサイトで回答願います。<https://forms.gle/wV9AhNYGWQ6mxJ4m8>

②支部審判部長に代理入力を依頼する。

※①の方法で回答ができない方に限る。

③陸協事務局へFAX(026-403-0095)で送信する。

※①②の方法で回答ができない方に限る。

2. 2023 審判研修提出: 5月11日(木)23:59 締切

オンライン講習会は3月5日に終了したので、講習会冊子による自己研修-評価テスト・レポート提出をお願いします。

3. 4月1日に新事務所<宛先に掲載>に移転します

***** 第177号 もくじ *****

- 2 全国都道府県対抗駅伝競走大会の結果
- 4 NAA Athletics Awards 2022 開催
- 6 全国中学校駅伝、全国高校駅伝の結果
- 8 会員以外のスポーツ情報の提供「スポーツにおける貧血」
- 10 2022年度を振り返って(代表理事・業務執行理事)
- 12 2023年度のKick offにあたり(内山代表理事)
- 14 競技者・監督の皆さんへ(青柳競技運営委員長)
- 15 主要大会結果一覧、くじ助成アートボード
- 16 長野陸協会議録、Topics、お知らせ他

本号も「くじの助成」を受けて発行します。2023年は全国都道府県対抗男子駅伝9回目の優勝でスタートし、4月からは新しいスタッフ・事務所で業務が始まります。これまでのご指導・鞭撻に心から御礼申し上げます。今後ともよろしくお願い致します。

◆発行所 一般財団法人長野陸上競技協会

◆発行・編集 編集委員会、代表理事・理事長 内山 了治

<https://nagano-rk.com/> info07@nagano-rk.com